



片桐勝彦の  
**バイレ  
 フラメンコ**  
 Acompañamiento del baile

著者プロフィール：日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。98年から長期渡西。マドリードのタブラオ「カサ・パタス」やセビージャのラジオ番組などに出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD：風回廊（渡辺えり）、天国を見た男（沢田研二）、Boy（coba）他。Estudio ROMERO主宰。

**VOL.8**  
**ALEGRÍAS ⑤**

～はじめに～ 先月までに、①アレグリアスの構造、②コブラ、③コレティージャ、④シレンシオ・カステジャーノ・エスコビージャを取り上げました。そして今回はアレグリアスの最終回です。ブレリアやハケの部分を確認していきましょう。

**ブレリアの部分**

12拍子系の踊りの最後には、ブレリアの歌が来ることが多いです。アレグリアスの場合は通常ブレリア・デ・カイが歌われます。

**ブレリア・デ・カイ**

8コンパス(4コンパス+4コンパス)の長さを持つカディスのブレリアです。

Aunque yo haya nacido en el Barrio de Mentidero yo nunca a ti te he mentío cuando te decía ; te quiero.	たとえ私が生まれたのが メンティデーロ街だとしても あなたに嘘をついたことは一度もない あなたを好きだ、と言った時も
--	---

1行目と3行目の終わりはio、2行目と4行目の終わりはero、そしてMentidero(ヒターノが多く住む下町メンティデーロ)とmentío(うそをつく)にそれぞれ韻が踏まれています。

ay, con el caray, caray, caray éstas son las cosas que pasan en Cáí, ay, que ni la hambre la vamos a sentir, que mire usted que gracia tiene este país.	おやまあ、おやまあ カディスではいろんなことが起こる お腹がすいたなんて言ってもらえない それにしてもこの国はなんてグラシアがあるんだろう
--	--

carayとは、うわっ、あれっ、なんだ！という意味。グラシアとは8月のコブラの説明時にも紹介しましたが、気品とか魅力という意味でカディスを象徴する言葉です。この詩も4行とも、発音上は「イ」の音で終わっています。

音源は片桐勝彦HPで聴けます！ URL <http://www.toshima.ne.jp/~kata/katsu>  
 同内容のバルマクラス、スタジオロメロで開催中。11月11、25日、20:40～終電ぐらいまで

## ワンポイント

カイとはカディスのことですが、セビージャからカディスに向かう途中でCadizではなくCaiと書かれた道路標識を見たことがあります。これはアンダルシアの方言では①音節中のDは発音されないことが多いこと、②最後のSとZを発音しないこと、などからきています。しかし自分が耳にした中では、カディスの地元の人たちは「カイ」より「カディ」と言っていることの方が多かったのですが……。最後のSを発音しない例をいくつか紹介します。

todos los días→トドロディア(毎日)、Los Gallos→ロガジョ(セビージャにある有名なタブラオ)

seis→セイ(数字の6、サイと発音する人も多い)

## ハケ・シメの部分

アレグリアスの曲の終わり方は7月に説明した通り、ハケ歌によって舞台からハケるか、デスプランテ(急な静止)をするか、キメのリズムなどで踊り手が舞台上で締める場合などがあります。ハケやシメでよく歌われる曲としてはTiriti tranの他に、Dice que te vasで始まるものや、Y si no se le quitan bailandoで始まるものなどが有名です。今回は他のタイプのカディスのブレリアを一つ紹介しておきましょう。

Alevanta, Baldomera, tomarás el café sabroso  
hecho con la cafetera y con agüita del pozo.

起きてバルドメーラ、井戸の水を使って機械で入れた  
美味しいコーヒーをどうぞ

## コラム

カディスに行くと、まずその明るさに驚かされます。カディスは海に囲まれた半島に位置していて、その海岸部分はコスタ・デ・ラ・ルスと呼ばれています。その明るさはサハラ砂漠から飛んでくる砂の輝きも手伝っているのかもしれませんが。しかし街や家、車には1年中サハラの砂が積もってしまうので、地元の人たちにとっては厄介な存在のようです。



カディスはヨーロッパの中でも最も古い街だと言われています。「カディスには3000年の歴史がある」と地元の人たちが口を揃えて話す光景に、私自身何度も出くわしました。その歴史は紀元前約1000年にフェニキア人が港を開いたことに始まり、ローマ帝国や西ゴート王国の支配、その後レコンキスタまではイスラムの支配下におかれます。現在のカテドラルは近世になってから建てられたものですが、黄金色のドームや尖塔などからはアラブ諸国のモスクが思い出されます。

### Peña Flamenca La Perla de Cádiz

カテドラルの近くの海沿いにカディスの有名な歌手、ペルラ・デ・カディスの名前が付いた300人ほど入れるペーニャがあります。毎日19時半から始まりますが、特に金曜日の22時すぎからはフラメンコの公演があって、深夜まで盛り上がっています。

C/ Carlos Ollero s/n +34 956 259 101



今回はフィン・デ・フィエスタなどでのブレリアを取り上げます。セビージャやヘレス、モロンなど地域的な違いなどにもふれますので、楽しみにしてください。